

初任給は大事な関心事!

国労東日本本部は継続して新賃金要求で初任給の改善を求めてきました。人材の確保と全社員の賃金の底上げは、今後の会社発展や社員の意欲向上から必要なことです。

	＜JR東日本の初任給＞2020年4月1日現在		＜厚生労働省＞ 2020年度賃金構造 基本統計調査
	エリア職採用	総合職採用	
大学院卒	192,900円	213,800円	238,900円
大学卒	185,900円	196,200円	210,200円
短大・専門卒	179,900円	181,200円	183,900円
高校卒	160,100円		167,400円

ご覧の通り、高校卒から大学院卒で7,000円～4万円程の格差があります。

初任給と賃金

の引上げは

緊急の課題

国労東日本本部の調査によると、JR採用者の年代別平均賃金は、以下の通りとなっています。

＜JR採用者年代別平均賃金＞		＜厚生労働省＞2020年度賃金構造基本統計調査	
勤続 1～5年目	203,521円	20～24歳	213,400円
勤続 6～10年目	221,629円	25～29歳	251,600円
勤続11～15年目	243,752円	30～34歳	290,800円
勤続16～20年目	270,871円	35～39歳	328,400円
(国労東日本本部調査)		40～44歳	360,100円